

一般社団法人 日本老年薬学会 札幌研修会

高齢者に対する適切な薬物治療の実践を医師と薬剤師が協働

2017年7月9日(日)

かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル)

講演会(9:30~13:00) 820研修室 定員140名(会員3,000円/非会員5,000円)

薬剤師による高齢者薬物療法ガイドライン2015の活用 (コード6-1)

秋下 雅弘 (東京大学大学院医学系研究科 教授)

高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015作成グループ代表として、本ガイドラインを薬剤師の方にどのように活用してほしいのか講演します。具体的には、薬剤師として処方の見直しに関わるための基本的知識と技能を修得できるように、症例も提示しながら解説します。高齢者の疾患・病態上の特徴は多岐にわたりますが、「薬物に対する反応性が異なる」ことが特に要注意!といったことをはじめとして、高齢者に対する薬物療法の注意点について講義を行います。

高齢者に多くみられる疾病(身体疾患を中心に) (コード2-2、3-2)

飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構 教授)

高齢者には様々な疾病や老年症候群がみられます。その治療としては、まず非薬物療法を選択すべきですが、効果が不十分な場合薬物療法を行います。しかしながら、高齢者に対する治療目標は時に非高齢者と異なるため注意が必要です。また、薬物療法は副作用が現れやすく注意が必要です。今回は、高齢者薬物療法ガイドライン2015の内容にそって生活習慣病、老年症候群を中心に、薬物療法上の留意点について実践につながる講義を行います。

高齢者の処方見直しへのアプローチ (コード7-2)

倉林 誠 (医療法人溪仁会 札幌西円山病院 薬剤部)

今回の講演では、高齢者医療に求められる薬剤師の技能について、実例を元に医療政策、臨床栄養、フィジカルアセスメントの必要性、ポリファーマシーへの取り組みについて説明する。

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の受講シール(2単位)、日本病薬病院薬学認定研修単位シール(2単位):カリキュラムV-3) 配布予定(どちらか一方選択)。

ワークショップ(14:00~17:30) 1040会議室 定員50名(会員・非会員5,000円)

老年薬学認定薬剤師ワークショップ~Basicコース~

古田 精一 (北海道薬科大学 地域医療薬学分野 教授)

症例の検討を通して、以下の内容を学びます。参加者には事前課題をお送りします。

- ・「高齢者の処方見直しへのアプローチ(7-3)」
 - ・「高齢者の身体能力に合わせた服薬支援(8-2)」
 - ・「多職種との連携(9-2)」
- ※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の受講シール(2単位)、日本病薬病院薬学認定研修単位シール(2単位):カリキュラムV-3) 配布予定(どちらか一方選択)。

参加には事前申込みが必要です(会員先行受付け)。ホームページからお願いいたします。

当学会では、専門性を向上する為の研修を継続して開催します。(コード記載受講証明書発行)

◎参加申込はホームページをご確認ください

<http://www.jsgp.or.jp/index.html>

日本老年薬学会

検索

学会年会費 [一般会員] 5,000円 / [学生会員] 1,000円